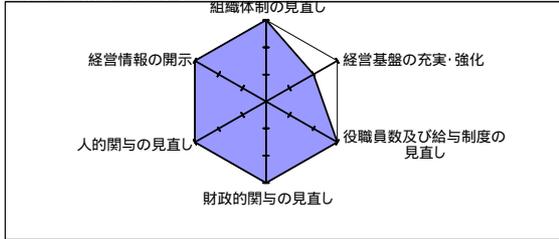


# 出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

(株)今治繊維リソースセンター

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	十分達成している
経営基盤の充実・強化	ある程度達成している。
役職員数及び給与制度の見直し	十分達成している
財政的関与の見直し	十分達成している
人的関与の見直し	十分達成している
経営情報の開示	十分達成している

## 1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

### (1) 組織体制の見直し

【評価: 十分達成している】

- ・四国タオル工業組合を中心に、関係機関の協力のもと、計画のとおり実施した。
- ・平成19年度においても、関係機関との連携を図り、現在の組織体制での運営を継続するよう努める。

### (2) 経営基盤の充実・強化

【評価: ある程度達成している。】

- ・施設賃貸事業収入、企画開発事業売上、機器等使用料収入は昨年度よりも減収となったが、平成19年度においては、更に営業力を強化し、各種事業収入等の増収を図り、目標を達成するよう努める。

【18年度2次評価に対する対応】

- ・収入の確保及び管理コストの縮減などに取り組むことにより、一層の経営基盤の充実・強化に努めるよう提言があったことについて18年度の売上高は前年より減収となったが、管理コストの削減により3年連続の黒字を達成した。
- ・累積欠損の解消のため、抜本的な改善策を検討する必要があるとされたことについて現在、無償減資について関係機関と調整中であり、今後、減資による累積欠損の解消で財務体質の改善を図る予定である。

### (3) 役職員数及び給与制度の見直し

【評価: 十分達成している】

- ・必要最低限の人員及び給与により事業を実施している。
- ・平成19年度においては、タオル業界等の支援事業に関係する人的強化を図り、目標を達成するよう努める。

## 2 県の関与の適正化に向けた取組

### (1) 財政的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

県の補助金交付は平成17年度までとなっており、平成18年度以降、財政的関与は行われていない。なお、出資金については、従前どおり継続出資している。

【18年度2次評価に対する対応】

- ・財政的関与の見直しについて、事業の成果や関係機関との役割分担などに留意して行うよう提言があったことについて「売れるものづくり」の支援を中心とした事業を実施することにより、今治地域のタオル産業の再生に貢献した。現在、県及び(財)今治地域地場産業振興センターが実施している技術支援、新商品・新技術研究開発事業等と連携し、平成19年度以降は当法人の自主努力により引き続きタオル産業の振興を図っていく方針である。
- ・(財)今治地域地場産業振興センターとの役割分担を明確にした上で効率的な事業を推進するよう提言があったことについて平成18年度より、両法人とも県の財政的関与は行われていないことから、今後とも両法人の自主努力により効率的な施策を行っていく。

### (2) 人的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

- ・取締役への県今治地方局長の就任について継続した。
- ・平成19年度においても、設立目的に沿った実効ある運営の推進のため、県今治地方局長の取締役への就任を継続する。

## 3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: 十分達成している】

- ・経営改善進捗管理会議を、計画のとおり開催した。
- ・平成19年度においても計画のとおり会議を開催して情報開示を行い、目標を達成するよう努める。

【18年度2次評価に対する対応】

- ・財務関係資料の公表について検討するよう提言があったことについて減資の手続きが完了した後、官報または当法人のホームページに掲載する予定である。

## 4 総合的評価

- ・「出資法人の自主性・自立性の向上に向けた取組」、「県の関与の適正化に向けた取組」、「経営情報等の積極的な開示に向けた取組」の全てについて、ほぼ目標を達成した。
- ・平成19年度においては、全ての取組について着実に目標を達成できるよう努める。